



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 ブランディングテクノロジー株式会社
コード番号 7067 URL <https://www.branding-t.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 木村 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 木上 翔太

TEL 03-6455-3117

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (説明動画を配信)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,086	13.0	1		1		1	
2023年3月期第1四半期	1,249	21.2	15		13		8	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1百万円 (85.9%) 2023年3月期第1四半期 12百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	0.85	
2023年3月期第1四半期	5.15	5.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,022	1,187	58.2
2023年3月期	2,158	1,210	55.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,177百万円 2023年3月期 1,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		16.00	16.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	9.0	175	45.0	173	41.5	110	37.8	68.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	1,599,415 株	2023年3月期	1,625,200 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	株	2023年3月期	25,785 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	1,599,415 株	2023年3月期1Q	1,593,855 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(経営成績の状況)

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)における我が国の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、行動制限が徐々に緩和され景気が緩やかに持ち直していくことが期待される状況にあります。しかしながら、世界的な金融引締め等を背景とした世界経済の減速懸念、急激な円安や物価高騰等による国内景気への影響を注視する必要があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。このような経済情勢においても、当社グループの経営理念である「共存共栄の精神で世の中に新たな価値と笑顔を創出します」を実践し、中小・地方企業様の経営者に対して真摯に向き合う事業推進パートナーとして、常に顧客の想いに応える存在であり続けます。

当社グループの主要事業領域である国内インターネット広告市場は成長を続け、2022年にはテレビ・新聞・雑誌・ラジオのマスコミ四媒体合計を上回る3兆912億円(前年比14.3%増)規模に拡大しており(出所:「2022年日本の広告費」株式会社電通)、社会のデジタル化が進むなかで今後も継続して拡大することが見込まれます。

このような市場環境を背景として当連結会計年度において、当社では引き続き継続的・安定的な事業規模拡大を目指し、主力のデジタルマーケティング事業及びブランド事業に注力いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,086,654千円(前年同期比13.0%減)、営業損失は1,761千円(前年同期は営業利益15,847千円)、経常損失は1,845千円(前年同期は経常利益13,897千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,359千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益8,208千円)となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

① ブランド事業

当該事業におきましては、ブランドの「らしさ」を確立したいと考える中小・地方企業様に対して、「ブランドファースト」の考え方を反映した独自フレームワークを軸としたオウンドメディアの構築・運用及び経営サポート、コンテンツマーケティング等を提供し、集客、採用・組織体制・企業文化における課題を解決しています。また、医療・建築・不動産・製造を中心に、3,000社超の既存顧客ネットワークから蓄積された「業界別ノウハウ」をもとに、成長可能性を高めるためのプロジェクト推進ができることを強みとしております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、前年度に引き続き、業界別ノウハウの強化、当社とのシナジーを生む企業との業務提携や提携先企業との共催セミナー開催等に注力して参りましたが、事業成長に向けた人材投資等の成果がまだ表れておらず、売上高は344,388千円(前年同期比2.9%減)、セグメント利益は53,382千円(前年同期比27.2%減)となりました。

② デジタルマーケティング事業

当該事業におきましては、デジタルシフトを推進しているものの、マーケティング責任者やデジタル責任者が不在でノウハウがなく、マーケティング活動の成果が出ないといった課題を抱える中堅・中小企業様に対して、各種インターネット広告、デジタルコンテンツ制作、WEBコンサルティング等を提供しております。また、当社が擁しているフロント人材が中心となり、現状分析、戦略立案・実行、効果測定までワンストップで提供できることを強みとしております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、地方自治体及び公共団体のデジタルマーケティング支援に注力し、顧客層の拡大を行って参りましたが、前年度に発生した大口顧客との取引縮小の影響により、売上高は699,842千円(前年同期比17.9%減)、セグメント利益は50,381千円(前年同期比20.0%減)となりました。

③ オフショア関連事業

当該事業におきましては、沖縄、ベトナムにてオフショア及びニアショア体制を強化することによって、ブランド事業及びデジタルマーケティング事業に対して、高品質なサービスをより安価で提供する体制を築いております。また、当該体制で培ったノウハウを、現地で同等の品質でサービス提供することにより、アジアに事業所を持つ日系企業や現地企業におけるオウンドメディアの構築や、デジタル領域における総合マーケティング支援を展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は42,423円（前年同期比0.6%減）と概ね前年度と同水準で推移した一方で、販売費及び一般管理費の削減により、セグメント利益は4,178千円（前年同期はセグメント損失1,682千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産2,022,517千円となり、前連結会計年度末と比較して136,327千円減少しております。負債合計は834,857千円となり、前連結会計年度末と比較して113,225千円減少しております。純資産は1,187,660千円となり、前連結会計年度末と比較して23,102千円減少しております。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ135,113千円減少し、1,809,909千円となりました。これは受取手形及び売掛金が66,087千円、現金及び預金が83,101千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,213千円減少し、212,608千円となりました。これは有形固定資産が4,719千円、無形固定資産が1,758千円減少した一方で、投資その他の資産が5,264千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ88,226千円減少し、720,173千円となりました。これは買掛金が66,378千円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ24,999千円減少し、114,684千円となりました。これは長期借入金が24,999千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ23,102千円減少し、1,187,660千円となりました。これは前連結会計年度に係る配当金25,590千円の支払があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へと移行になったことにより、国内の経済活動に回復の動きが見られ、収束後の「アフターコロナ時代」へ向け、デジタルシフトに取り組む企業はさらに増加することが見込まれます。このような事業環境のもとで、当社が主要顧客層としている中堅・中小企業様においても、時代の変化に対応したビジネスモデルの変革が生じ、デジタルとブランディングを掛け合わせたサービスのニーズはさらに高まるものと考えております。

一方で、2023年3月期第4四半期より、デジタルマーケティング事業において大口顧客との取引が縮小し、2024年3月期においても取引額の減少が見込まれます。このような状況において、今後、大口顧客との取引を推進する方針はなく、当社が創業時から主要顧客層としている中堅・中小企業様へのサービス提供を強化し、各事業の収益性を高めることに注力して参ります。

依然として先行き不透明な状況が予想されますが、2024年3月期の連結業績予想につきましては、やや計画に遅れが見られるものの、2023年5月12日に開示しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,318,549	1,235,447
受取手形及び売掛金	507,050	440,962
仕掛品	28,642	32,045
前払費用	83,062	84,736
その他	9,179	17,882
貸倒引当金	△1,461	△1,164
流動資産合計	1,945,023	1,809,909
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	53,665	48,946
有形固定資産合計	53,665	48,946
無形固定資産		
その他	11,928	10,169
無形固定資産合計	11,928	10,169
投資その他の資産		
その他	156,926	162,267
貸倒引当金	△8,699	△8,775
投資その他の資産合計	148,227	153,492
固定資産合計	213,822	212,608
資産合計	2,158,845	2,022,517
負債の部		
流動負債		
買掛金	317,303	250,924
1年内返済予定の長期借入金	106,688	98,329
未払法人税等	33,776	7,802
賞与引当金	42,898	26,021
その他	307,733	337,095
流動負債合計	808,399	720,173
固定負債		
長期借入金	116,683	91,684
その他	23,000	23,000
固定負債合計	139,683	114,684
負債合計	948,082	834,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	52,119	52,119
資本剰余金	264,319	237,564
利益剰余金	903,264	876,313
自己株式	△26,754	-
株主資本合計	1,192,948	1,165,997
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	8,258	11,213
その他の包括利益累計額合計	8,258	11,213
新株予約権	5,324	6,085
非支配株主持分	4,231	4,363
純資産合計	1,210,762	1,187,660
負債純資産合計	2,158,845	2,022,517

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,249,693	1,086,654
売上原価	961,431	830,477
売上総利益	288,261	256,176
販売費及び一般管理費	272,413	257,937
営業利益又は営業損失(△)	15,847	△1,761
営業外収益		
受取利息	2	3
為替差益	100	1,694
助成金収入	1,840	-
その他	147	2
営業外収益合計	2,089	1,700
営業外費用		
支払利息	598	348
持分法による投資損失	38	15
出資金評価損	3,396	955
和解金	-	466
その他	5	-
営業外費用合計	4,039	1,785
経常利益又は経常損失(△)	13,897	△1,845
特別利益		
新株予約権戻入益	74	-
特別利益合計	74	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	13,972	△1,845
法人税、住民税及び事業税	8,416	5,989
法人税等調整額	△2,807	△6,607
法人税等合計	5,609	△617
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,362	△1,227
非支配株主に帰属する四半期純利益	154	132
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	8,208	△1,359

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,362	△1,227
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,858	2,955
その他の包括利益合計	3,858	2,955
四半期包括利益	12,221	1,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,066	1,595
非支配株主に係る四半期包括利益	154	132

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月17日開催の取締役会決議に基づき、2023年5月31日付で、自己株式25,785株の消却を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ26,754千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ブランド事業	デジタル マーケ ティング事業	オフショア 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	354,608	852,417	42,666	1,249,693	-	1,249,693
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,384	-	43,404	55,788	△55,788	-
計	366,992	852,417	86,071	1,305,481	△55,788	1,249,693
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	73,374	62,989	△1,682	134,680	△118,832	15,847

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△118,832千円には、セグメント間取引消去264千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△119,097千円が含まれております。

全社費用の主なものは報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ブランド事業	デジタル マーケ ティング事業	オフショア 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	344,388	699,842	42,423	1,086,654	-	1,086,654
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,663	-	46,306	66,970	△66,970	-
計	365,052	699,842	88,730	1,153,625	△66,970	1,086,654
セグメント利益	53,382	50,381	4,178	107,941	△109,702	△1,761

(注) 1. セグメント利益の調整額△109,702千円には、セグメント間取引消去△243千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△109,459千円が含まれております。

全社費用の主なものは報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。